

平成 21 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 角谷 常子

最終学歴	京都大学大学院文学研究科東洋史学専攻博士課程単位取得満期退学
取得学位	博士（文学）
所属学会	東洋史研究会・史学研究会・日本秦漢史学会・木簡学会・東方学会・日本出土資料学会
現在の専門分野	中国古代史
研究課題	出土資料からみた漢代社会

【研究上の特記事項】

平成21年度～平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「東アジア木簡学の確立」研究代表者  
平成20年度～平成23年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「『九章算術』の『算数書』との比較および数学史における位置付けの検討」分担研究者  
韓国木簡調査（8月11日～8月15日 羅州・昌原・慶州）  
中国三国簡牘調査（12月13日～17日 長沙）

【教育上の特記事項】

【社会的活動】

古代文化編集委員（2009年度～）、木簡学会委員（2005年度～）、歴史講座（日本セカンドライフ協会）講演3回（大阪市）

【学内活動】（学内職歴を含む）

学科主任・国際交流委員

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)  中国古代下達文書 の書式	単	2011年	「簡帛研究」2007	古代の公文書の下達形態を書式や用語によって分類し、その特徴を考察した。
(学会発表)				
(その他)				